

平成 20 年度第 1 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 20 年 7 月 22 日 (火) 14 時 00 分～18 時 15 分

2. 場 所 大阪大学附属図書館 A 棟 6 階研修室

3. 出席者 (順不同、敬称略)

京都大学附属図書館	渡邊英理子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	武藤 記子
京都府立大学図書館	道家 俊之
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司 (主査)
大阪国際大学総合メディアセンター枚方図書館	尾崎 茂夫
花園大学情報センター (図書館)	福島 丞
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	稲葉 洋子
関西学院大学図書館	兄井 栄子

4. 議 事

1) 開会

開会にあたり、4名の委員が交代したため自己紹介が行われた。また、今年度も鹿田委員が主査を、石定委員が事務局を務めることが確認された。

鹿田主査から、懸案になっていた研修資料、消耗品等の保存期間について平成 20 年度第 1 回運営委員会に諮り、2年後の年度末までは能力開発専門委員会が預かり、その後、運営委員会事務局へ送付して事務局で選別の上、必要なものは運営委員会事務局で保存することが確認された旨、報告があった。

続いて、鹿田主査から『大学図書館近畿イニシアティブ平成 19 年度活動報告』に基づき、近畿イニシアの概略説明があった後、今年度の「初任者研修」は、10 月開催、参加費を徴収しないことが運営委員会で決定された旨、報告があった。

2) 平成 20 年度基礎研修「初任者研修」について

① 日程、会場について

年間計画 (案) (資料 1) に基づき、今後の日程、会場について検討が行われた。研修会場については、運営委員会で、大阪市立大学と神戸大学が候補に挙げられたが、班別討議の会場の関係で大阪市立大学の方がより相応しいとの意見が出され、大阪市立大学にお願いをすることとした。また、第 2 回専門委員会会場は関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催することとした。

研修日程が 10 月であれば、大阪市立大学なら 14 日～17 日になり、準備期間が十分に取れないとの意見が出された。11 月初旬開催の可能性についても検討し、10 月 14 日～17 日もしくは 11 月 5 日～7 日で運営委員長と調整することとした。

② 役割分担について

次いで、役割分担表 (資料 2) に基づき、各自の役割分担を決定した。なお、今年度は、研修前、当日、研修後の役割がほぼ合致しているので、研修前、当日、研修後の区別を廃止した。分担は下記のとおり。

運営委員会連絡担当	鹿田	会計担当	渡邊、稲葉
講師担当	鹿田、兄井	研修者担当	石定
会場担当	福島	配布資料担当	武藤
情報交換会担当	尾崎	当日受付担当	渡邊、稲葉、武藤
司会担当	尾崎	記録担当	道家（アンケート） 近江（録音）、福島（写真）

③ カリキュラム案について

平成 18 年度ベースとしたカリキュラム案（資料 5）に基づき、検討を行った。

- ・近畿イニシアの目的の 1 つとして人的交流が重要であり、班別討議をスムーズに行うためにも、1 日目から班別で集まる機会が持てればよいとの意見が出され、初日の午後開始時に班別の自己紹介タイムを 30 分設けることとした。そこで班別討議の司会、記録、発表の役割分担も決めてもらうこととし、講演、昼休み時間で調整して 13:10～13:40 を当てることになった。
- ・2 日目の会場見学を会場館の勤務時間内に収めるため、休憩時間等で調整して、17:00 閉会とする。
- ・研修 6 は「図書館からの情報発信」に代えて「海外図書館事情」とする。
- ・講演講師、各研修講師の候補について検討が行われ、次のとおりとした。専門委員から 7 月末を期限として打診することとした。

講演 関西学院大学 中村順治氏

研修 1 和歌山県立医科大学 南方氏

研修 2 関西学院大学 澤村氏

研修 3 武庫川女子大学 川崎氏

研修 4 大阪市立大学 中村氏

研修 5 同志社大学 中島氏

研修 6 大阪大学

④ スケジュール確認について

次いで、今後のスケジュールについて再確認が行われ、次のとおりとした。

第 2 回専門委員会開催	9 月 1～3 日頃
第 2 回運営委員会	9 月 9 日頃に開催を依頼
開催通知発送、広告募集開始	9 月 16 日頃
募集締切	10 月 6 日頃
受講者決定通知、講師原稿締切	10 月 15 日頃

⑤ その他

初任者研修の対象者、募集人数について確認が行われ、対象者としては「所属長が認めた者」、60 名程度で募集するとの説明があった。

昨年同様、私立短期大学への開催通知をお願いしたいとの要請があり、運営委員会に初任者研修案を提示する際に、再確認することとした。

以 上